



“楽しい” ことをつなごう

緊急事態宣言が解除されてから、徐々に保護者の方の仕事が始まり、日常が戻ってきていると感じています。6月からは、登園を自粛していた子どもたちが戻ってきます。1か月半にもわたり、家で仕事をしながらお子さんの育児をされたり、祖父母の方の力を借りてお仕事に行っておられた方など、さまざまな思いを抱えながらの不安な時間でした。たくさん我慢の時間ではありましたが、保護者の方からは、“こんなに子どもとゆっくと過ごしたことはない、成長を感じられる時間だった”

“大変だったのは、おじいちゃん、おばあちゃん”と、助けてもらっている祖父母への感謝の気持ちなども伝わってきました。久しぶりに保育園に来る子どもたちは、涙が出たり、生活のリズムが戻らない子どもたちもいるでしょう。保護者の方も、どうなるだろうと、お子さんの様子に不安を感じておられることと思いますが、ご家庭と連携を取りながら、子どもたちが楽しく過ごし、保護者の方も安心していつもの生活に戻れるように応援しています。気になることがありましたら、遠慮なく職員に話してください。

さて、例年だと、6月は運動会を楽しみにしながら、幼稚園ではお友だちと、ひとつのことに向かって力を合わせたり、かけっこで悔しい思いを経験したりという時期ですが、コロナウイルスへの感染に配慮して、延期となっています。そのような中で私たちは、今、子どもたちとできることを考え、日々の保育が楽しく充実したものになるようにと、興味・関心の芽を楽しいプロジェクトに繋げています。

乳児園では、プランターで“草”を育てていて、たんぽぽやシロツメクサの研究をしています。屋上で育てる草に、毎日子どもたちがお水をあげていると、そこへ、てんとう虫が来るようになりました。

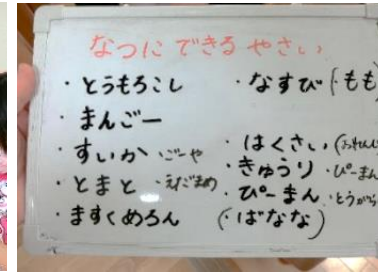
幼稚園では、右のドキュメンテーションにもあるように、野菜や花を育てています。しろ組さんは、今まで屋上で育てたちゅうりっぷの球根や夏野菜が、カラスにほじくられ、育たなかった経験をしているので、今度こそ！という思いが伝わってきます。毎日、植物の成長の写真を撮り、気が付いたことを絵や覚えたてのひらがなを書いて記録しているようです。また、うまくいかないことがあっても、子どもたちは、みんなであれこれと考えたり、工夫していくことなのでしょう。この体験こそが、これから先の学習に繋がる「あそびは学び」の過程なのです。誰かに伝えたいと字を覚え、植物の育ちをどうして？と調べれば、どんどん知りたいことが増えていきます。それは、友だちと一緒にだから、より、楽しくなっていくます。毎日の楽しいあそびが先伸びする力となっていくのです。一人ひとりの子どもの興味・関心のあることが存分に経験できる環境を整えていきたいと思っています。

先日、あか組(3歳) Yくんが、リュックサックの中を探しても水筒がないことに困っていると、きい組(4歳) Fくんが、「水筒がないん？ そんなときは、先生に言ったらいいんだよ。」と、一緒に大きな声で伝えてくれました。小さいお友だちが困っていることに気付いたFくん。何気ない日常の中の場面ですが、ほっとします。異年齢での育ちも大切に育てていきたいと思ひます。

これからの行事については、密を意識しながらも通常通り進めていきたいと考えています。コロナウイルスへの感染には気を緩めずに、引き続き、ご協力を頂きますようお願いいたします。

園長

「みんな一緒にびっくりポン! ~ みんなで育てよう! 編 ~



4月、しろぐみさんの月刊絵本の付録にしぜん図鑑がついており、その中に春の草花や夏の野菜が載っていたことから、「保育園で作ってみたい!」という声が聞かれました。早速、春に栽培できる野菜をみんなで調べ、その中から自分たちでできそうなものを選びました。

プランターや土、苗や種を用意し、みんなで植えました。お当番さんは毎日水やりをします。そしてそんな姿を見たいきいぐみさんも、やりたくなってウズウズ...! きいぐみさんもみんなでひまわりの種を植えることにしました。



しろぐみさんではお休みしているお友だちにも成長の様子を知らせよう! と写真に撮り、気づいたことを子どもたちが自分で書きこんだ紙を壁に貼りました。大きくなるのが楽しみだね!



各クラスでは、4月からお店屋さんごっこやお家作り、楽器作りなど、子どもたちのイメージから様々なあそびを継続して楽しんでいます。どのあそびの中でも「お休みのお友だちも遊べるようにしなくちゃ」「〇〇ちゃんがきたら教えてあげよう!」と、お休みのお友だちにも気持ちを寄せながら遊んでいる様子が見られ嬉しく思いました。長いお休み明けの子どもたちも安心してあそびに加わっていけるよう、登園してきた時ワクワクするような環境づくりを、子どもたちと一緒に保育者も日々考えています。これからみんなが元気いっぱい登園できるようになり、子どもたちのイメージが合わさったとき、さらにあそびが広がっていくことを今から私たちも楽しみにしています。様々な行事が延期や中止となり残念なこともありますが、今出来ることを子どもたちと一緒にたくさん見つけ、これからも楽しいあそびをどんどん計画していきたいと思ひます。

幼稚園主任

